

2024年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針

1 地域と利用者と法人(職員)の関わり合いの場づくり	⇒より良い共生社会の構築に向け、地域住民、利用者、職員が立場や年齢を越えて交流できる「場づくり」をします
2 サービスの質の向上	⇒利用者の「笑顔と安心」のため、常にサービスの技術・知識のスキルアップを図りながら、福祉職としての意識向上に努めます
3 法人内全11事業所の適正運営	⇒11事業所がそれぞれの使命を自覚し、多職種間の連携を密に取りながら、適切なサービスを提供します

担当部	担当課	法人方針	取組内容	重要経営指標	目標/実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期合計
高齢福祉部	第1介護課 (特養)	1-1	入居者の余暇活動充実の為、地域のボランティアによるレクリエーション活動の依頼を行う	地域参加型の行事を四半期に1回の開催	目標	1	1	1	1	4
					実績					0
					差異	-1	-1	-1	-1	-4
		1-2	外出支援も含めた各季節の行事の開催 (誕生日会・花見・夏祭り・敬老会・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り等)	毎月ユニット毎で行事を企画・開催する	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	-12
		2	介護技術の向上のため、四半期に1回研修会(食事・入浴・排泄・外部研修)を開催をする ・研修発表会、事例発表会の企画をする	職員全員の研修の参加 (研修報告書の提出率100%)	目標	100%	100%	100%	100%	100%
					実績					0%
					差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%
	3-1	営業活動及び入所申込者への面談 →待機者3名確保 計画的に入居申込者の方々の面談を実施し、円滑な入所調整をする	特養全体の入居稼働率99%以上維持	目標	99%	99%	99%	99%	99%	
				実績					0%	
				差異	-99%	-99%	-99%	-99%	-99%	
	3-2	業務や面談を通じて職員とのコミュニケーションを図り、チームとして信頼関係を構築する	四半期に1回職員個人面談を実施する	目標	100%	100%	100%	100%	100%	
				実績					0%	
				差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	
	3-3	居宅事業所へショートステイの空き情報を定期的にご案内し、効率の良い利用につなげる	ショートステイ稼働率85%維持	目標	85%	85%	85%	85%	85%	
				実績					0%	
				差異	-85%	-85%	-85%	-85%	-85%	
	第2介護課 (特養)	1-1	入居者の余暇活動充実の為、地域のボランティアによるレクリエーション活動の依頼を行う	地域参加型の行事を四半期に1回の開催	目標	1	1	1	1	4
					実績					0
					差異	-1	-1	-1	-1	-4
		1-2	外出支援も含めた各季節の行事の開催 (誕生日会・花見・夏祭り・敬老会・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り等)	毎月ユニット毎で行事を企画・開催する	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	-12
		1-3	行事や日頃の様子を写真に残す 入居者の活動場を増やす	ブログの配信(1回/月)	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	0
	2-1	介護技術の向上のため、四半期に1回研修会(食事・入浴・排泄・外部研修)を開催をする ・研修発表会、事例発表会の企画をする	全員の研修の参加(研修報告書の提出率100%とする)	目標	100%	100%	100%	100%	400%	
				実績					0%	
				差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-400%	
	2-2	家族との関係作りの為、日常の様子を写真に撮り家族に送る。24時間シートの送付 面会時や電話の時に様子を伝える	入居者の日常の様子を写真に撮り、定期的に送付する(1回/3ヶ月)	目標	1	1	1	1	4	
				実績					0	
				差異	-1	-1	-1	-1	(4)	
	3-1	営業活動及び入所申込者への面談 →待機者3名を確保する。計画的に入居申込者の方々の面談を実施し、円滑な入所調整をする	特養全体の稼働率99%以上	目標	99%	99%	99%	99%	396%	
				実績					0%	
				差異	-99%	-99%	-99%	-99%	-396%	
	3-2	業務や面談を通じて職員とのコミュニケーションを図り、チームとして信頼関係を構築する	四半期に1回職員個人と面談を実施する	目標	1	1	1	1	4	
				実績					0	
				差異	-1	-1	-1	-1	-4	
	第3介護課 (特養)	1-1	入居者の余暇活動充実の為、地域のボランティアによるレクリエーション活動の依頼を行う	地域参加型の行事を四半期に1回の開催	目標	1	1	1	1	4
					実績					0
					差異	-1	-1	-1	-1	-4
1-2		外出支援も含めた各季節の行事の開催 (誕生日会・花見・夏祭り・敬老会・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り等)	毎月ユニット毎で行事を企画・開催する	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
2-1		介護技術の向上のため、四半期に1回研修会(食事・入浴・排泄・外部研修)を開催をする ・研修発表会、事例発表会の企画をする	全員の研修の参加(研修報告書の提出率100%とする)	目標	100%	100%	100%	100%	400%	
				実績					0%	
				差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-400%	
2-2	職員のアセスメント能力を高める為に、担当職員主催のカンファレンスを実施する	毎月、6名以上のケアカンファレンスを実施	目標	18	18	18	18	72		
			実績					0		
			差異	-18	-18	-18	-18	-72		
3-1	営業活動及び入所申込者への面談 →待機者3名を確保する。計画的に入居申込者の方々の面談を実施し、円滑な入所調整をする	特養全体の稼働率99%以上	目標	99%	99%	99%	99%	396%		
			実績					0%		
			差異	-99%	-99%	-99%	-99%	-396%		
3-2	業務や面談を通じて職員とのコミュニケーションを図り、チームとして信頼関係を構築する	四半期に1回職員個人と面談を実施する	目標	1	1	1	1	4		
			実績					0		
			差異	-1	-1	-1	-1	-4		
第4介護課 (特養) もみじ	1-1	入居者の余暇活動充実の為、地域のボランティアによるレクリエーション活動の依頼を行う	地域参加型の行事を四半期に1回の開催	目標	1	1	1	1	4	
				実績					0	
				差異	-1	-1	-1	-1	-4	
	1-2	外出支援も含めた各季節の行事の開催 (誕生日会・花見・夏祭り・敬老会・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り等)	毎月ユニット毎で行事を企画・開催する	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
	2-1	介護技術の向上のため、四半期に1回研修会(食事・入浴・排泄・外部研修)を開催をする ・研修発表会、事例発表会の企画をする	全員の研修の参加(研修報告書の提出率100%とする)	目標	100%	100%	100%	100%	400%	
				実績					0%	
				差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-400%	
2-2	入居者に合った適正サービスを提供し続ける為、24時間シートの検証をユニット会議で行う	毎月6名以上の見直しを実施する	目標	20	20	20	20	80		
			実績					0		
			差異	-20	-20	-20	-20	-80		
3-1	営業活動及び入所申込者への面談 →待機者3名を確保する。計画的に入居申込者の方々の面談を実施し、円滑な入所調整をする	特養全体の稼働率99%以上	目標	99%	99%	99%	99%	99%		
			実績					0%		
			差異	-99%	-99%	-99%	-99%	-99%		
3-2	業務や面談を通じて職員とのコミュニケーションを図り、チームとして信頼関係を構築する	四半期に1回職員個人と面談を実施する	目標	1	1	1	1	4		
			実績					0		
			差異	-1	-1	-1	-1	-4		
医務課 (特養)	1	他部署及び特養主催のレクリエーション活動の企画に積極的に参加し実施する	月1回以上ユニット行事を開催し参加する	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
	2	介護職員からの医療的ケアに係る要望を聞き2か月に1回ユニット会議を利用し勉強会を開催する	医療的ケアの勉強会の実施回数(2ヶ月に1回)	目標	1	2	1	2	6	
				実績					0	
				差異	-1	-2	-1	-2	-6	
3	介護職員と情報交換しながら皮膚状態評価・観察を行い、対応方法の指示を行う	褥瘡発生率「0%」を維持する	目標	0%	0%	0%	0%	0%		
			実績					0%		
			差異	0%	0%	0%	0%	0%		

2024年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針

1 地域と利用者と法人(職員)の関わり合いの場づくり	⇒より良い共生社会の構築に向け、地域住民、利用者、職員が立場や年齢を越えて交流できる「場づくり」をします
2 サービスの質の向上	⇒利用者の「笑顔と安心」のため、常にサービスの技術・知識のスキルアップを図りながら、福祉職としての意識向上に努めます
3 法人内全11事業所の適正運営	⇒11事業所がそれぞれの使命を自覚し、多職種間の連携を密に取りながら、適切なサービスを提供します

担当部	担当課	法人方針	取組内容	重要経営指標	目標/実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期合計	
高齢福祉部	福祉専門課 (理学療法士)	1	個別機能訓練、ミールラウンド等を通じて入居者個別にポジショニング等の評価を行い、現場へ共有・適切な指導を行う	個別リハビリの評価、ケアの指示事項の現場への指導伝達を毎月9名以上実施する	目標 実績	27 27	27 27	27 27	27 27	108 0	
		差異	-27	-27	-27	-27	-108				
		2	ADL維持・向上のため、入居者に見合った個別機能訓練を実施する	入居者個別に月2回以上実施する	目標 実績	6 6	6 6	6 6	6 6	24 0	
		差異	-6	-6	-6	-6	-24				
		3	入居者の身体・生活機能等の状況を適正に管理し、正しく給付を行う	個別機能訓練加算(Ⅱ) 個別機能訓練加算(Ⅲ) 入居者全員に上記加算を算定する	目標 実績	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 0%	
		差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%				
		福祉専門課 (管理栄養士)	1	各季節の行事やユニット誕生日会・敬老会・新年会への企画・提案から参加する	4ユニットで月に1回開催される行事に参加する	目標 実績	12 12	12 12	12 12	12 12	48 0
			差異	-12	-12	-12	-12	-48			
			2	給食委託業者・富士産業とのミーティングや勉強会に参加し、密な連携を図る	毎月1回開催される勉強会に参加する	目標 実績	3 3	3 3	3 3	3 3	12 0
	差異		-3	-3	-3	-3	-12				
	3		特養入居者の栄養状態を維持・改善の為、定期的な食事の観察・評価を行い、適切な栄養管理をする	特養 栄養マネジメント加算 100%算定/月 算定	目標 実績	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 0%	
	差異		-100%	-100%	-100%	-100%	-100%				
	3-2		デイサービス利用者の食事状況を確認・評価し、多職種連携しながら低栄養状態を防ぐ	デイサービス アセスメント加算 20名以上算定/月 算定	目標 実績	60 60	60 60	60 60	60 60	240 0	
	差異		-60	-60	-60	-60	-240				
	3-3		毎月ミールラウンドを実施し、飲み込みの悪い入居者の経口摂取が維持できるよう、多職種で協働しながらその人に合った支援をする	特養 経口維持加算 20名以上算定/月 算定	目標 実績	60 60	60 60	60 60	60 60	240 0	
	差異	-60	-60	-60	-60	-240					
	福祉専門課 (歯科衛生士)	1	各季節の行事やユニット誕生日会・敬老会・新年会等へ企画・準備から参加する	特養4ユニットで毎月開催する行事に参加する	目標 実績	12 12	12 12	12 12	12 12	48 0	
		差異	-12	-12	-12	-12	-48				
		2	特養入居者の口腔衛生状態の維持・改善の為、口腔ケア実施や介護職員への助言・指導をする	四半期に1回ユニット会議で「口腔ケア研修」を実施する	目標 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	4 0	
		差異	-1	-1	-1	-1	-4				
		3	入居者の口腔内を適切に維持する為、月2回以上の口腔衛生管理を行い、随時介護職員へ助言・指導を行う	特養 口腔衛生管理加算(Ⅱ) 100%算定/月	目標 実績	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 0%	
		差異	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%				
		3-2	入居者で飲み込みの悪い方の経口摂取が維持できるように毎月ミールラウンドを実施し、状態の確認し、改善に努める	特養 経口維持加算(Ⅱ) 30名/月 算定	目標 実績	90 90	90 90	90 90	90 90	360 0	
		差異	-90	-90	-90	-90	-360				
3-3		口腔衛生状態の改善が必要な方について、職員に対し口腔ケアに係る助言・指導を行う	グループホーム 口腔衛生管理体制加算 3名/月 算定	目標 実績	9 9	9 9	9 9	9 9	36 0		
差異	-9	-9	-9	-9	-36						
3-4	デイサービスの利用者で口腔衛生状態の改善が必要な方の個別計画を作成し、口腔機能維持のため口腔ケア等の支援をする	デイサービス 口腔機能向上加算(Ⅱ) 5名/月 算定	目標 実績	15 15	15 15	15 15	15 15	60 0			
差異	-15	-15	-15	-15	-60						
福祉専門課 (相談員)	1	円滑なサービス受け入れをすべく、居宅・包括ヘンショーステイの空床情報を定期的にお知らせする	近隣の居宅事業所(25ヶ所)ヘンショーステイの空き状況を毎月2回案内する	目標 実績	150 150	150 150	150 150	150 150	600 0		
	差異	-150	-150	-150	-150	-600					
	1-2	地域のケアマネとの連携強化のため、定期的に事業所へ直接訪問する	毎月、2事業所以上訪問する	目標 実績	6 6	6 6	6 6	6 6	24 0		
	差異	-6	-6	-6	-6	-24					
	2-1	ショーステイ利用時のサービス内容についてのご家族にアンケートの実施を行う。アンケート結果は現場と共有し、都度改善を図る	利用満足度アンケートの結果を踏まえたサービス向上会議を四半期に1度開催する	目標 実績	4 4	4 4	4 4	4 4	16 0		
	差異	-4	-4	-4	-4	-16					
	3-1	円滑な入所をしていただくため、特養管理者と連携しながら、特養申込者の方々へ計画的に入所面談を実施する	常時、待機者3名以上維持する	目標 実績	9 9	9 9	9 9	9 9	36 0		
	差異	-9	-9	-9	-9	-36					
	福祉専門家 (介護支援専門員)	1	個別のカンファレンスやミールラウンドを通じて、入居者の詳細な情報を把握、ケアプランの内容を多職種に具体的に落とし込む	毎月、多職種参加型の入居者個別カンファレンス3ヶ月に1回以上実施する(28名/月以上)	目標 実績	84 84	84 84	84 84	84 84	336 0	
差異		-84	-84	-84	-84	-336					
2		最低でも3か月に1回ケアプランの見直しを行い、適正なサービスの維持に努める	毎月28名以上のケアプランの作成・交付	目標 実績	84 84	84 84	84 84	84 84	336 0		
差異		-84	-84	-84	-84	-336					
3		介護現場、各専門職と連携を密にすることで入居者にあったケアプランを管理、適切な請求を行う	入居者の認定期間や支援状況等、各種加算要件等を適切に管理、確実に適正請求をする	目標 実績	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100% 0%		
差異		-100%	-100%	-100%	-100%	-100%					
地域福祉部		通所介護課	1	地域のボランティアや他部署との特別イベントの実施	1回/四半期開催する(4回/年)	目標 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	4 0
			差異	-1	-1	-1	-1	-4			
			2	利用者満足度向上に向けたレクリエーションと行事を重点的に取り組み、「飽きないデイ」について毎月のデイ会議で検証し、改善に努める	月間延べ利用者数1000名以上(第4四半期は800名/月以上)	目標 実績	2,700 2,700	2,700 2,700	2,700 2,700	2,400 2,400	10,500 0
	差異		-2,700	-2,700	-2,700	-2,400	-10,500				
	3-1		居宅介護支援事業所等との関係作りのための定期的な事業所訪問(1回/月)を実施	新規利用者の獲得(4名/月)(48名/年)	目標 実績	12 12	12 12	12 12	12 12	48 0	
	差異		-12	-12	-12	-12	-48				
	3-2		利用者一人ひとりに合った機能訓練を実施し、ADL維持・向上に努める	個別機能訓練加算実施者に100%算定	目標 実績	100 100	100 100	100 100	100 100	400 0	
	差異		-100	-100	-100	-100	-400				
	よらいや		1	・体操講師として公民館や地域サロン等へ出向く ・健康や福祉等に関する講義の開催	運動指導員として地域のサロン会等へ参加する(四半期に1回以上)	目標 実績	3 3	3 3	3 3	3 3	12 0
		差異	-3	-3	-3	-3	-12				
		2	会員さんがやりがいを持ちながら、楽しんで通ってもらえる、イベントを企画・実施をする	毎月1回のイベント開催	目標 実績	3 3	3 3	3 3	3 3	12 0	
		差異	-3	-3	-3	-3	-12				
		3	・広報活動(パンフレット、チラシ配り等) ・ホームページや広報誌、SNS等で情報発信	新規入会者を増やす(年間純増12名) →毎月純増1名を確保	目標 実績	3 3	3 3	3 3	3 3	12 0	
		差異	-3	-3	-3	-3	-12				

2024年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針

1 地域と利用者と法人(職員)の関わり合いの場づくり	⇒より良い共生社会の構築に向け、地域住民、利用者、職員が立場や年齢を越えて交流できる「場づくり」をします
2 サービスの質の向上	⇒利用者の「笑顔と安心」のため、常にサービスの技術・知識のスキルアップを図りながら、福祉職としての意識向上に努めます
3 法人内全11事業所の適正運営	⇒11事業所がそれぞれの使命を自覚し、多職種間の連携を密に取りながら、適切なサービスを提供します

担当部	担当課	法人方針	取組内容	重要経営指標	目標/実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期合計
地域福祉部	地域包括課	1	地域ケア会議開催の開催 開催に向けて各4地区公民館との事前打ち合わせを実施	地域ケア会議 年4回(第3四半期に実施) ・第1・第2四半期(事前打ち合わせ・2回ずつ) ・第4四半期(次年度に向けた振り返り)	目標	2	2	4	1	9
					実績					0
					差異	-2	-2	-4	-1	-9
		2	スキルアップ・関係構築のための研修会の参加	外部研修 各職員(事務員除く) (各職員2回ずつ、5人×2回=計10回)	目標	2	3	3	2	10
					実績					0
					差異	-2	-3	-3	-2	-10
		3	予防プランに関する書類・記録の的確な処理 管理者による修正・指導を実施	プラン担当2名の書類・記録を毎月確認する (1回/月、12回/年)	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	-12
	居宅支援課	1	多職種、他事業所との連携構築のための研修会・ サロン会等に参加	毎月1回以上参加する	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	-12
		2	介護保険法改正に伴う、各種加算等の取得及び 維持、ケアマネの質の向上。 主任ケアマネ資格の取得1名以上(第4四半期)	特定事業所加算Ⅱの維持、返還ゼロ 一給付率100%	目標	100	100	100	1	301
					実績					0
					差異	-100	-100	-100	-1	-301
3	ICTを活用することで業務負担を削減し、一人あ たりの担当件数を増やす ・ケアマネを増員し、事業拡大を図る	ケアマネ1人あたり担当件数40件以上 →事業所合計 40件×4名=160件	目標	480	480	480	480	1,920		
			実績					0		
			差異	-480	-480	-480	-480	-1,920		
グループホーム	1	地域の方々にグループホームを知ってもらうため、 また入居者との交流の場づくりのためのイベントを 企画・開催する。	月に1度、地域のボランティアさんとの交流イベント を開催する	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
	2	認知症ケアの質の向上を目的とした認知症勉強会 の開催(勉強会開催担当職員を選任しテーマを自 分選定で決めて開催する)	四半期に1度勉強会を開催する (うち1回は外部研修、または外部合同勉強会)	目標	1	1	1	1	4	
				実績					0	
				差異	-1	-1	-1	-1	-4	
3	入居希望者の円滑な受け入れのため、居宅・包括 支援センターとの関係づくりをする →定期的にパンフレット送付・連絡等	入所申し込み者数を増やし、入居待機者を各四半 期で3名ずつ確保する。	目標	3	3	3	3	12		
			実績					0		
			差異	-3	-3	-3	-3	-12		
障がい福祉部	通所支援課	(放課ときぞう デー)	1 「安定して過ごせる居場所づくり」の実践のため、 定期的に法人内の他事業所と一緒に連携した活 動をする	他事業所との行事を月3回行う	目標	9	9	9	9	36
					実績					0
					差異	-9	-9	-9	-9	-36
		2	職員の「利用者の18歳以降の自立を目指した支 援」の更なるスキルUPのため、就労支援・生活介 護事業所と連携し研修を実施する	あそしえA型・B型・生活介護への実習体験などの 研修を行う(月1回)	目標	3	3	3	3	12
					実績					0
					差異	-3	-3	-3	-3	-12
	3	充実した運動プログラムなど利用者の体力維持を 目指した「継続できる活動」を実施する	1日利用平均17名以上(利用率85%以上) (定員20名/日)	目標	17	17	17	17	68	
				実績					0	
				差異	-17	-17	-17	-17	-68	
	(生と 活介 護)	1 「安定して過ごせる居場所づくり」の実践のため、 定期的に法人内の他事業所と一緒に連携した活 動をする	法人内の他事業所との交流行事を月1回実施	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
	2	利用者の満足度、個々の関わりでの充実を図るた め、こまめにサービスの評価・見直しをする	サービス向上を目的とした個別支援会議を月1名 以上開催。	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
3	利用者が常に来所を楽しみにしていただけるよう、 行事等の充実を図る	行事・イベント等を通じ、サービス追加利用を 月5名以上提案する	目標	15	15	15	15	60		
			実績					0		
			差異	-15	-15	-15	-15	-60		
就労支援課	あそしえA	1 清掃を行っている他の就労支援事業所と相互研修 を行い、常に清掃の質向上に努める	他事業所と相互研修を開催する (四半期に1回)	目標	1	1	1	1	4	
				実績					0	
				差異	-1	-1	-1	-1	-4	
	2	一般就労に向けた利用者のスキルアップのため、 支援の充実を図る	年次の研修計画に沿って一般就労に向けた基 礎研修を毎月実施する	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
	3	ピアサポーター面談を活用し、利用者の心身の状 態の安定に努め、安定就労のための支援に努め る	1日利用平均9名以上(利用率90%以上) (定員10名/日)	目標	9	9	9	9	36	
				実績					0	
				差異	-9	-9	-9	-9	-36	
あそしえB	1 利用者の社会参加の一環として、店頭販売、地域 イベントへ出店する	毎月1回以上の出店を計画的に行う	目標	3	3	3	3	12		
			実績					0		
			差異	-3	-3	-3	-3	-12		
2	効果的且つ、充実した訓練・作業の提供を行うこと で、工賃の向上を図る	利用者の平均の時給を上げる 210円 → 230円	目標	215	220	225	230	890		
			実績					0		
			差異	-215	-220	-225	-230	-890		
3	利用者が安心して通所ができるよう、コミュニケー ションを図りながら心身の状態が安定できる支援 に努める	1日利用平均8名以上(利用率80%以上) (定員10名/日)	目標	8	8	8	8	32		
			実績					0		
			差異	-8	-8	-8	-8	-32		
りんく	1 利用者の「安定して過ごせる居場所づくり」のた め、関係事業者等と連携を密にとり、信頼関係を 構築する	法人内のサービス事業所へ4半期に2名以上紹介 する	目標	2	2	2	2	8		
			実績					0		
			差異	-2	-2	-2	-2	-8		
2	地域の相談支援の現状や他の福祉サービスの業 界動向、地域資源の把握に努める	相談員連絡会への参加毎月1回参加	目標	3	3	3	3	12		
			実績					0		
			差異	-3	-3	-3	-3	-12		
3	利用者の状況把握による適正支援と正しい給付管 理を行う	担当保有件数「90件/月」以上維持	目標	90	90	90	90	360		
			実績					0		
			差異	-90	-90	-90	-90	-360		
法人本部	総務課	1 法人の「顔」として利用者・来客・職員へ 率先し明るく丁寧な接遇を実践する	苦情「ゼロ」	目標	0	0	0	0	0	
				実績					0	
				差異	0	0	0	0	0	
	2	正確な経理処理、請求業務を行う	請求ミス「ゼロ」	目標	0	0	0	0	0	
				実績					0	
				差異	0	0	0	0	0	
	3	・正しい労務管理(ワークライフバランス) ・業者との円滑な対応・折衝	・時間外労働実績の確認・検証(毎月) ・現場支援とコスト削減	目標	3	3	3	3	12	
				実績					0	
				差異	-3	-3	-3	-3	-12	
総合企画課	1 新規雇用に向けた関係づくり	各種学校・ハローワーク等訪問 (30回/年)	目標	10	5	10	5	30		
			実績					0		
			差異	-10	-5	-10	-5	-30		
2	・キャリアパスの為の外部研修企画 ・人材育成に伴う資格取得支援提案	・研修・資格取得関係案内及び管理 ・資格取得該当者の選任 (1回/月)	目標	3	3	3	3	12		
			実績					0		
			差異	-3	-3	-3	-3	-12		
3	・広報誌の発行 ・ホームページの広報活動等をこまめに更新	・広報誌・ホームページを通して法人の活動 ・内容等情報発信(広報誌4半期に1回)	目標	1	1	1	1	4		
			実績					0		
			差異	-1	-1	-1	-1	-4		